

しが 県博協だより

第32号

滋賀県博物館協議会

しが県博協だより第32号は、昨年度開催した2回の研修事業「文化財の保存と活用—保護法改正で何が変わるのかー」及び「“博物館×X”博物館の可能性～高齢者福祉編～」、令和元年度表彰受賞者の報告を掲載いたします。

令和元年度 研修事業実施報告

第1回研修事業

「文化財保護行政の不易と流行—「改正」文化財保護法下を生き延びろ！—附 歴史資料の保存と活用の現在」

講師：地主智彦 氏（文化庁文化財第一課歴史資料部門・選定保存技術部門文化財調査官）

日時：令和元年（2019）10月30日（木）

13:30～16:00

会場：大津市歴史博物館

参加人数：45名（事務局2名、研修委員5名）

参加館数：25館

概要

1. はじめに 今回の研修会のねらい

平成31年（2019）4月1日より、改正された文化財保護法が施行されています。この改正は、文化財をまちづくりに生かし、その保存・活用に地域一帯で取り組むことを柱としたもので、文化財の活用に舵を切る大きな改正となります。改正法の施行によって、さまざまな民間団体の協力を得ることで、所有者の高齢化やコミュニティの変化により維持管理が困難になっている文化財の劣化や散逸防止などが期待できる一方で、文化財の観光利用が進み保存に支障が出るのではないかとの懸念もあります。

こうした状況をふまえ、今回の情報交換会では、文化庁より地主氏を講師に迎え、文化財保護法制の歴史、今回の改正の趣旨・内容や課題についてご講演いただきました。

2. 文化財保護行政史の概観

日本の文化財保護法制は、明治4年（1871）太



研修会の様子

政官布告「古器旧物保存方」に始まりますが、文化財保護行政の本格化は明治30年（1897）の「古社寺保存法」です。この法律により、「歴史の証徴」「美術ノ模範」たる社寺の建造物・宝物を特別保護建造物・国宝とし、補助金を下付することができると定められ、現在の文化財保護行政の根幹となる指定制度が開始されました。その後、昭和4年（1929）には、指定文化財の所有者を個人・法人・自治体に拡大した「国宝保存法」、同8年（1933）には美術品の海外流出を防ぎ、適正な保存を図るための「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」が制定されました。

昭和25年（1950）、前年1月の法隆寺金堂火災などを直接の契機として、戦前の保護法制を包括した「文化財保護法」が施行されました。その後、社会情勢の変遷に合わせて、改正が重ねられてきましたが、美術工芸品関係では昭和50年（1975）の改正で歴史資料分野や選定保存技術を創設したこと、平成8年（1996）の改正では文化財登録制度の導入したこと（運用は平成17年から）などの措置が講じられました。

このように、日本の文化財保護法制の歴史は、分野・対象・所有者の「拡大」の歴史であったと言えます。

3. 平成31年文化財保護法改正に至る経過・内容・課題

平成29年（2017）5月、文部科学大臣より文化審議会に対して「これから文化財の保存と活用の在り方」について諮問がなされ、文化審議会に設置された企画調査会における検討を経て答申が取りまとめられ、平成30年（2018）6月に改正法が国会で成立、同31年（2019）4月1日に施行となりました。

今回の保護法改正の主眼は、人口減少・少子高齢化が進むなか、文化財を地域総がかりで保存・継承・活用していくための仕組みの整備であるとされています。しかし、平成28年（2016）の首相官邸政策会議「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」において文化財を観光資源として活用するという方針が打ち出されているように、改正法のもう一つの大きな目的は文化財保護対象の拡大路線と文化財の観光資源化にあります。

このような視点で見ると、今回の改正法の骨格である、大綱・地域計画・保存活用計画の策定の法制化、所有者以外の団体・民間団体の関与の制度化、観光資源化できる文化財の重用（常時公開、クローン、多言語化）は、文化財観光資源化の枠組を有効化させる手段として導入されたものと言えます。しかし、観光資源化を可能とする条件を満たしうる文化財は建造物や記念物などごく一部の文化財であり、多くの美術工芸品は該当しないと考えられます。文化財の内容や管理状況に応じ、文化財価値の保存を第一としたうえで、柔軟に保存・活用を図っていくことが必要です。

また、今回の改正により文化財保護事務を教育委員会から首長部局へ移行することが可能となりましたが、関連施設・専門職員が観光財に集中させられ、文化財保護行政が停滞することが懸念されます。

「改正」文化財保護法の内容、考え方を把握したうえで、専門職員としての資質を磨きながら、本質的な業務を見極め、職務にあたることが望まれます。

4. 歴史資料分野における個別修理事業の現在

「附」として歴史資料分野における特徴的な文化財修理である、①対馬宗家関係資料、②京都府行政文書、③琉球芸術調査写真附調査記録、④近代教科書関係資料、⑤法隆寺金堂壁画写真原板・同写真ガラス原板の5つの事例紹介をいただきました。

5. まとめ

今回のご講演によって、今回の文化財保護法改正に至る制度の変遷や改正趣旨について知識を得ることが出来ただけでなく、今回の改正の問題・課題についても理解を深めることができました。文化財を観光資源として一層活用しようという国の方針が主流となる中で、博物館職員や文化財行政に携わる職

員は、文化財保護法が持っている本質を見失わずに「仕事」を実践していくことが肝要であると感じました。

（近江日野商人ふるさと館 岡井健司）

第2回研修事業

「博物館×X」博物館の可能性～高齢者福祉編～

日時：令和2年（2020）2月9日（日）

13:30～16:30

会場：水口社会福祉センター 福祉ホール

参加人数：53名（うち事務局2名、研修委員8名）

参加館数：12館



講師のみなさん（左から堀井氏、竜王氏、駒井氏、井阪氏）

概要

1. 取り組み報告「資料館と市民協働～博物館の可能性～」

講師：甲賀市教育委員会歴史文化財課・土山歴史民俗資料館 駒井文恵 氏

地域と資料館のコラボのきっかけは、収蔵庫が足りない、職員不足、来館者の減少といった資料館が抱えるさまざまな問題でした。そこで、これらの問題解決の糸口として「民具に光を与えることは出来ないだろうか」と模索していたところ、出会ったのが「地域回想法」でした。

地域回想法とは、地域の懐かしい民具などを見たり、触ったりしながら昔の経験や思い出を語り合うもので、認知症の療法の一環として医療・介護の現場で実践されてきました。この回想法に資料館が収集した民具を活用してもらうことで、過疎化に悩み、誇りを失いかけていた地域にも新しい活力が生まれるのではないかと想いました。

具体的な取り組みとして、甲賀市土山町山内を拠点に活動する地域グループ「山内エコクラブ」の「ふるさと絵屏風」作り（平成28年（2016）、29

年(2017))が挙げられます。ふるさと絵屏風とは、山内地区のお年寄りを中心に、昔の生活や思い出を大きな屏風に描き出したもの。資料館の学芸員は地図絵図の見方や保管方法、さまざまなお話を屏風に活かす方法、聞き取りの仕方などにアドバイスを行いました。その成果として、平成30年(2018)度にはふるさと絵屏風と民具を展示する企画展を開催し、令和元年(2019)9月にはICOM京都大会での発表を行いました。並行して、小学校での「昔の暮らし」授業など、民具を活用した取り組みも多く実施しています。

これらの活動を通して、民具に関する貴重な証言が採取出来ること以上に、お年寄りが元気になる、子どもたちが目を輝かせて昔の話を聞くなどの成果が現れており、博物館施設が地域と連携する大切さを実感しました。

2. 講話「民具を使った回想法」

山内エコクラブ代表・甲賀市保健師 竜王真紀 氏
グループホームかふかの里主任 堀井 誠 氏

【竜王氏】

日本社会で進む高齢化に伴い、認知症の人も増加しています。今後は福祉以外の専門家や機関とも連携を深め、支えを必要とする高齢者の増加をゆるやかにする必要があります。その中で期待できるのが非薬物療法での認知症対応、例えば回想法です。

回想法は、1963年にアメリカの精神科医ロバート・バトラーが提唱しました。回想により過去を振り返り、人生を価値あるものと肯定し、自我の統合と絶望の解決が得られるとしています。

回想のメカニズムは、昔のことを思い出すと大脳扁桃体からドーパミンが放出され、いい気持ちになるというものです。特に民具を活用した地域回想法は、高齢者に懐かしさや自分が輝いていた時代を思い起こさせ、豊かな感情が沸き上がる効果が認められます。

これらの実践例として、「思い出しサロン」が挙げられます。平成30年(2018)5月に実施された甲賀町小佐治地区では「農作業」を主テーマにし、参加者の方はこの土地独自の田舟やスッポン足袋に興味を示されました。令和2年(2020)1月に実施された信楽町江田地区では、参加者の方が結婚の際に父親から贈られた炭火アイロンを持参し、思い出話を披露して下さいました。

甲賀町の認知症グループホーム「かふかの里」では、令和元年(2019)6月～11月にかけて、9回にわたり回想法を行いました。季節をテーマにした回や、「赤ちゃん人形」は多くの方に喜んで頂きました。それでは、詳しくは「かふかの里」の堀井さ

んから報告して頂きます。

【堀井氏】

当施設では、年齢は79歳～93歳、要介護度は1～3、日常生活自立度は2B～3Bの方13名を対象に回想法を実施しました。皆さん最初は緊張気味でしたが、昔使ったものを見ると懐かしそうな表情になり、初めて聞くような話も伺うことが出来ました。参加スタッフには絆の着物を着用してもらったのですが、そのスタッフのことを覚えている様子が見られるなど、驚くようなこともあります。今後は、例えば普段の生活のなかに昔の道具を取り入れるなど(難しければ写真など)、さまざまな工夫が出来るのではと考えています。

スタッフにも成長がありました。話す力・聞く力が鍛えられ、介護の現場で大切なコミュニケーション力が高められました。利用者さんとの信頼関係もより強く築くことが出来たと思います。回想法は、介護に携わる者にとって、大切なことを学べるツールではないでしょうか。

【竜王氏】

地域回想法とは、高齢者の歩んだ人生を前向きに肯定する援助法です。そのなかで、学芸員さんにはその地域の歴史や方言、独自の道具の使い方などに助言を頂けることが有り難いです。福祉と博物館のコラボレーションには大きな可能性があり、それぞれの機関がそれぞれの強みを活かして行くのが大切だと考えています。

3. グループワーク・発表まとめ

講師：山内エコクラブ・心療回想士 井阪尚司 氏

井阪氏の進行のもと、参加者は5つの班に分かれ「博物館と福祉がコラボしたら何が生まれるか」「高齢者が輝くためにできること」というテーマについて討論を行いました。約20分後、それぞれの班から「つなげていこう」「発信」「出会いとつながり、マッチングとコーディネート」「お互いを知る」といったキーワードと討論内容の概要の発表がありました。

まとめとして井阪氏からは、福祉と博物館は異なる専門分野かもしれないが「人がどう生きて、何を残してきたのか」を追求する点は同じなので、地域回想法は福祉にとっても博物館にとっても意義のある取り組みであること。また現在、高齢の方が積み上げて来たさまざまな文化や記憶をどのように残していくのかが大きな課題であることなどのお話をありました。福祉と博物館、それぞれの立場・手法から協働が出来れば、よりよい未来につながるので

は、という提言でした。

4. 情報交換会

地域で生活する高齢者、あるいは回想法中の高齢者への聞き取り調査の具体的な実践方法と注意点について、参加者と講師の間で質疑応答、ならびに情報交換が行われました。

5. まとめ

博物館と福祉のコラボレーションについて、さまざまな視点からお話を伺いました。特に回想法については、民具の他にも歴史資料や美術作品など、さまざまな応用が効くように思われました。普段、博物館施設（美術館）で仕事をしているとなかなか知る機会のない福祉の現場のことについても分かりやすくお話し頂き、地域との連携や福祉分野との協働の可能性について、深く考えるきっかけとなりました。会場では、実際の「ふるさと絵屏風」や民具の展示も実施されました。

（滋賀県立近代美術館 山口 真有香）



「ふるさと絵屏風」や民具が展示された会場の様子

令和元年度 表彰受賞者

令和元年度は、長浜城歴史博物館友の会が「博物館等の事業に対し顕著な功績のあった者」として表彰されました。

長浜城歴史博物館友の会は、昭和60年（1985）の発足以来、「歴史に根ざした地域づくり」を目指し、地域に密着した活動を継続してこられました。その中でも特筆すべき活動として、「長浜城一門衆（いちもんしゅう）」と「黄母衣衆（きほろしゅう）」をはじめとするボランティア活動が挙げられます。一門衆は、博物館内の展示案内を主な活動とし、黄母衣衆は、博物館の普及啓発事業の運営を補助し、

博物館を支えてくださっています。他にも、博物館周辺の清掃や、会報誌やチラシなどの封入作業、博物館に寄託・寄贈されている古文書等の整理など、その活動は多岐にわたっておられます。

こうしたボランティア活動は、地域に親しまれる博物館運営を目指す長浜城歴史博物館にとって極めて重要な活動であり、博物館活動を支える上でも大きな役割を果たしていると言えます。また、展示案内や各種講座・見学会への関わりは、会員のみなさまにとっても大きな自己実現の場となっています。

（事務局・草津市立草津宿街道交流館
岡田 裕美）

【編集後記】

令和元年度は、令和の開始にあたる年にふさわしく研修委員会が加盟館のスキルアップに繋がる2回の情報交換会を実施しました。文化財保護法改正に関するものと、博物館と福祉分野との連携に関するものです。2つとも活発な意見交換が行われ、有意義な情報交換会になりました。

記念事業委員会では、令和2年度以降の実施を予定しているワークショップの計画案を検討するとともに、県博協設立40周年事業を踏まえ、その計画立案を行いました。

広報委員会では、毎日新聞で連載している「名品手鑑」が終了するため、新シリーズ「名品手鑑II」を企画立案しました。毎日新聞の紙面以外に、同新聞のウェブサイトやニュースアプリに掲載することになり、加盟館の情報を知りもらう機会がさらに増えるのではないかと期待しております。引き続き加盟館の皆様にはご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

年度末には、新型コロナウイルス感染症の拡大という大きな出来事がありました。感染防止のため、臨時休館やイベントの中止、延期などの措置を講じる館もあり、加盟館に大きな影響を及ぼしました。最後に、委員一同、県博協が加盟館のみなさまにとっての活発な交流・活動の場となるよう取り組んで参りますので、さらなるご支援ご協力またご意見などを寄せくださいますようお願い申し上げます。

（広報委員・滋賀県立琵琶湖博物館 八尋 克郎）

しが県博協だより 第32号

令和2年（2020年） 6月30日発行

編集・発行 滋賀県博物館協議会

〒525-0034 草津市草津3丁目10-4

草津市立草津宿街道交流館内

TEL 077-567-0030

URL <https://sam.shiga.jp/>

2020年度滋賀県博物館協議会 加盟館名簿

2020年5月26日現在

| 会員館名 | 郵便番号 | 住所 | TEL | FAX |
|---------------------------|----------|------------------------|--------------|--------------|
| 近江神宮時計館宝物館 | 520-0015 | 大津市神宮町1-1 | 077-522-3725 | 077-522-3860 |
| 大津市歴史博物館 | 520-0037 | 大津市御陵町2-2 | 077-521-2100 | 077-521-2666 |
| 大津絵美術館 | 520-0036 | 大津市園城寺町33番地 総本山円満院門跡 | 077-522-3690 | 077-522-3150 |
| 長等創作展示館・三橋節子美術館 | 520-0035 | 大津市小関町1-1 | 077-523-5101 | 077-523-5101 |
| 大津祭曳山展示館 | 520-0043 | 大津市中央1-2-27 | 077-521-1013 | 077-521-1013 |
| 滋賀県立琵琶湖文化館 | 520-0806 | 大津市打出浜地先 | 077-522-8179 | 077-522-9634 |
| 渡来人歴史館 | 520-0051 | 大津市梅林2-4-6 | 077-525-3030 | 077-525-3450 |
| 公益財団法人 講所焼美術館 | 520-0837 | 大津市中庄1-22-28 | 077-523-1118 | 077-523-1118 |
| 建部大社宝物殿 | 520-2132 | 大津市神領1-16-1 | 077-545-0038 | 077-545-2438 |
| 滋賀県立近代美術館 | 520-0807 | 大津市松本1-2-1 滋賀県大津合同庁舎5F | 077-522-2111 | 077-522-2188 |
| 田上郷土史料館 | 520-2112 | 大津市牧1-8-32 | 077-549-0369 | 077-549-0369 |
| 田上鉱物博物館 | 520-2275 | 大津市枝町3-8-4 | 077-546-1921 | 077-546-1921 |
| 木下美術館 | 520-0016 | 大津市比叡平2-28-21 | 077-575-1148 | 077-575-1148 |
| 比叡山国宝殿 | 520-0116 | 大津市坂本本町4220 | 077-578-0001 | 077-578-0678 |
| 伊香立「香の里史料館」 | 520-0352 | 大津市伊香立下在地町1223-1 | 077-598-2005 | 077-598-2005 |
| 大津市科学館 | 520-0814 | 大津市本丸町6-50 | 077-522-1907 | 077-522-2297 |
| 草津市立草津宿街道交流館 | 525-0034 | 草津市草津3-10-4 | 077-567-0030 | 077-567-0031 |
| 守山市ほたるの森資料館 | 524-0051 | 守山市三宅町10 市民運動公園内 | 077-583-9680 | 077-583-9680 |
| 守山市立埋蔵文化財センター | 524-0212 | 守山市服部町2250 | 077-585-4397 | 077-585-4397 |
| 滋賀県立琵琶湖博物館 | 525-0001 | 草津市下物町1091 | 077-568-4811 | 077-568-4850 |
| 佐川美術館 | 524-0102 | 守山市水保町北川2891-44 | 077-585-7800 | 077-585-7810 |
| 栗東歴史民俗博物館 | 520-3016 | 栗東市小野223-8 | 077-554-2733 | 077-554-2755 |
| 国指定重要文化財「大角家」住宅旧和中散本舗 | 520-3017 | 栗東市六地蔵402 | 077-552-0971 | 077-552-0971 |
| 湖南市東海道石部宿歴史民俗資料館 | 520-3116 | 湖南市雨山2-1-1 | 0748-77-5400 | 0748-77-5401 |
| 菩提寺歴史文化資料室(菩提寺まちづくりセンター内) | 520-3248 | 湖南市菩提寺西4-2-12 | 0748-74-3471 | 0748-74-4005 |
| びわ湖アートギャラリー | 524-0292 | 野洲市吉川4187 鮎家の郷内 | 077-589-3999 | 077-589-4806 |
| 野洲市歴史民俗博物館(銅鐸博物館) | 520-2315 | 野洲市辻町57-1 | 077-587-4410 | 077-587-4413 |
| 甲賀市水口歴史民俗資料館 | 528-0005 | 甲賀市水口町水口5638 | 0748-62-7141 | 0748-63-4737 |
| みなくち子どもの森自然館 | 528-0051 | 甲賀市水口町北内貴10 | 0748-63-6712 | 0748-63-0466 |
| 甲賀市土山歴史民俗資料館 | 528-0211 | 甲賀市土山町北土山2230 | 0748-66-1056 | 0748-66-1067 |
| 甲賀忍術博物館 | 520-3405 | 甲賀市甲賀町隱岐394 | 0748-88-5528 | 0748-88-2108 |
| 甲賀流忍術屋敷 | 520-3311 | 甲賀市甲南町龍法師2331 | 0748-86-2179 | 0748-86-7505 |
| 甲賀市甲南ふれあいの館 | 520-3321 | 甲賀市甲南町葛木925 | 0748-86-7551 | 0748-86-7551 |
| 甲賀市信楽伝統産業会館 | 529-1851 | 甲賀市信楽町長野1203 | 0748-82-2345 | 0748-82-2551 |
| 滋賀県立陶芸の森 陶芸館 | 529-1804 | 甲賀市信楽町勅旨2188-7 | 0748-83-0909 | 0748-83-1193 |
| MIHO MUSEUM | 529-1814 | 甲賀市信楽町田代桃谷300 | 0748-82-3411 | 0748-82-3414 |

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------------|---------------|--------------|
| 滋賀サファリ博物館 | 529-1802 | 甲賀市信楽町黄瀬 2854-2 | 0748-83-0121 | 0748-83-0122 |
| かわらミュージアム | 523-0821 | 近江八幡市多賀町 738-2 | 0748-33-8567 | 0748-33-8722 |
| 滋賀県立安土城考古博物館 | 521-1311 | 近江八幡市安土町下豊浦 6678 | 0748-46-2424 | 0748-46-6140 |
| 近江八幡市立資料館 | 523-0871 | 近江八幡市新町 2 丁目 22 | 0748-32-7048 | 0748-32-7051 |
| 近江日野商人館 | 529-1603 | 蒲生郡日野町大窪 1011 | 0748-52-0007 | 0748-52-0172 |
| 近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」 | 529-1628 | 蒲生郡日野町西大路 1264 | 0748-52-0008 | 0748-52-3850 |
| 世界凧博物館東近江大凧会館 | 527-0025 | 東近江市八日市東本町 3 番 5 号 | 0748-23-0081 | 0748-23-1860 |
| 木地屋民芸品展示資料館(木地師資料館) | 527-0201 | 東近江市蛭谷町 176 | 080-8306-6470 | |
| 日登美術館 | 527-0231 | 東近江市山上町 2068-2 | 0748-27-1707 | 0748-27-1950 |
| 東近江市近江商人博物館・中路融人記念館 | 529-1421 | 東近江市五個荘竜田町 583 | 0748-48-7101 | 0748-48-7105 |
| 観峰館 | 529-1421 | 東近江市五個荘竜田町 136 | 0748-48-4141 | 0748-48-5475 |
| 滋賀県平和祈念館 | 527-0157 | 東近江市下中野町 431 番地 | 0749-46-0300 | 0749-46-0350 |
| 手おりの里、金剛苑 | 529-1204 | 愛知郡愛荘町蚊野外 514 | 0749-37-4131 | 0749-37-4131 |
| 愛荘町立歴史文化博物館 | 529-1202 | 愛知郡愛荘町松尾寺 878 番地 | 0749-37-4500 | 0749-37-4520 |
| 愛荘町立愛知川びんてまりの館 | 529-1313 | 愛知郡愛荘町市 1673 | 0749-42-4114 | 0749-42-8484 |
| 豊会館 | 529-1174 | 犬上郡豊郷町下枝 56 | 0749-35-2356 | |
| 多賀町立博物館 | 522-0314 | 犬上郡多賀町四手 976-2 | 0749-48-2077 | 0749-48-8055 |
| ダイニックスアストロパーク天究館 | 522-0341 | 犬上郡多賀町多賀 283-1 | 0749-48-1820 | 0749-48-1961 |
| 彦根城博物館 | 522-0061 | 彦根市金龜町 1-1 | 0749-22-6100 | 0749-22-6520 |
| 米原市醒井宿資料館 | 521-0035 | 米原市醒井 592 | 0749-54-2163 | |
| 醒井木彫美術館 | 521-0035 | 米原市醒井 95 | 0749-54-0842 | 0749-54-0842 |
| 米原市柏原宿歴史館 | 521-0202 | 米原市柏原 2101 | 0749-57-8020 | 0749-57-8020 |
| 伊吹山文化資料館 | 521-0314 | 米原市春照 77 | 0749-58-0252 | 0749-58-0252 |
| 国友鉄砲ミュージアム | 526-0001 | 長浜市国友町 534 | 0749-62-1250 | 0749-62-1250 |
| 長浜市長浜城歴史博物館 | 526-0065 | 長浜市公園町 10-10 | 0749-63-4611 | 0749-63-4613 |
| 成田美術館 | 526-0056 | 長浜市朝日町 34-24 | 0749-65-0234 | 0749-65-0234 |
| 長浜市曳山博物館 | 526-0059 | 長浜市元浜町 14-8 | 0749-65-3300 | 0749-65-3440 |
| 冷水寺胎内仏資料館 | 529-0251 | 長浜市高月町宇根 308-1 | 0749-85-3209 | 0749-85-3209 |
| 湖北野鳥センター | 529-0365 | 長浜市湖北町今西 | 0749-79-1289 | 0749-79-8022 |
| 竹生島宝厳寺宝物殿 | 526-0124 | 長浜市早崎町竹生島 1664-1 | 0749-63-4410 | |
| 布施美術館 | 529-0205 | 長浜市高月町唐川 339 | 0749-85-2363 | 0749-85-2363 |
| ヤンマーミュージアム | 526-0055 | 長浜市三和町 6-50 | 0749-62-8887 | 0749-62-8780 |
| 白谷荘歴史民俗博物館 | 520-1837 | 高島市マキノ町白谷 343 | 0740-27-0164 | 0740-27-1000 |
| 高島歴史民俗資料館 | 520-1111 | 高島市鴨 2239 | 0740-36-1553 | 0740-36-1554 |